

世界形柔道選手権大会
石田姉妹 優勝

フランスのパリで十一月八～九日に『二〇二五年世界形柔道選手権大会』が開催された。

『柔の形』日本代表として石田理子選手（米田柔整専門学校）・真理子選手（米田接骨院）が出場し、409・5点を獲得し、優勝を飾った。今大会で五連覇となる。

世界形柔道選手権大会は年に一回開催される形の世界大会である。エントリー種目は毎年異なり本年度二年ぶりの出場となる。六大陸から三七の国が参加して開催され、選手も総勢四六六名（内女性は一二九名）参加してお



が考案した切る、打つ、突くとい

世界形柔道選手権大会
石田姉妹 優勝

フランスのパリで十一月八～九日に『二〇二五年世界形柔道選手権大会』が開催された。

『柔の形』日本代表として石田理子選手（米田柔整専門学校）・真理子選手（米田接骨院）が出場し、409・5点を獲得し、優勝を飾った。今大会で五連覇となる。

世界形柔道選手権大会は年に一回開催される形の世界大会である。エントリー種目は毎年異なり本年度二年ぶりの出場となる。六大陸から三七の国が参加して開催され、選手も総勢四六六名（内女性は一二九名）参加してお

世界形柔道選手権大会優勝！パリ大会

石田姉妹 五連覇達成！

米田柔整専門学校同窓会（校友会）誌
〒451-0053名古屋市西区枇杷島二丁目3番13号
米田柔整専門学校内

令和七年の主な出来事
優勝報告会開催（二月）
全国柔道大会3位入賞（八月）
石田姉妹5連覇達成（十一月）



った攻撃に対する防御の方法を、柔道の理合いに基づいて緩やかな動作で表現する形である。世界大会で優勝は非常に名誉あることです。それを五回も重ねるということは本当に真の努力の賜です。心から敬意を表します。

第58回全国学校協会柔道大会 3位入賞

八月五日、東京武道館にて柔道全国大会が行われた。

昨年優勝という重圧のかかる中で、選手たちは全力を尽くしたが、今年度は惜しくも3位となつた。対戦相手との実力が拮抗した中で、選手は持てる力を発揮し、少し及ばなかつたが立派な成績であ



優勝報告会開催

第五七回大会全国優勝を祝して二月十一日、名古屋ガーデンパレス、翼の間に優勝報告会が開催された。

米田忠正理事長からは強豪選手を集めている学校もある中、練習と努力で優勝を勝ち取ったことは立派だとの挨拶から始まり、石田柔道委員会委員長からは長年戦い方をみているが、最初の2分間は押され気味であるが、最後の1分で逆転するのが我が校の伝統との評があつた。

来年の雪辱を誓っていた。





特に、近年で二度優勝と吉田監督の手腕が大きいと思われるが、「本人はたまたまい時期に選手を預かっただけ」と謙遜していた。

「決して強豪校出身でない選手が自分で練習メニューを考え、自らを鍛錬していることが立派だ」と、普段選手を褒めない監督が、この時ばかりは選手を褒めていた。



平岩一郎会長の激励から始まり、途中には柔道委員や昨年優勝メンバーのOBなどから在校生に對しての指導も交えながら熱い稽古となつた。平岩会長より冷蔵庫からあふれんばかりの、アイスの差し入れもあり、厳しいながらも笑顔あふれる稽古となつた。

夏季柔道稽古

七月十三日夏季柔道稽古が開催された。卒業生と在校生が合同で稽古をする毎年恒例の行事である。



第三回校内柔道大会開催

九月二十五日に米田柔整専門学校にて第三回校内柔道大会が行われた。今年は昭和百年の節目であるが、国家試験となつた年より始まり、コロナ禍で中止となつた年以外は我が校の伝統行事として受け継がれてきていく。

以前と比べると、黒帯の学生は少なくなり、大きな事故が起きないよう、また楽しめるよう、試合のやり方にも工夫を凝らしながら開催している。

毎年在校中に黒帯を取得する学生は何名かおり、同窓会から黒帯を贈呈しており、本年は石田柔道

委員長から贈呈された。



第二回運動会開催

十月十七日（金）米田柔整専門学校にて校内運動会が行われた。米田道場に全校生徒が集い、同



窓会より寄贈された豪華賞品をかけて白熱した戦いが繰り広げられた。

この日に向けてクラスでお揃いのユニフォームを作ったり、特殊な衣装をこしらえたり、熱量の高さがクラスごとに表れていた。

最後はくじ引きを行い商品を平岩会長から贈呈され、商品獲得した学生は大喜びであった。3年生のクラスが商品を総なめしたが、他のクラスが商品を譲つてあげるという先輩の心意気を見せていた。

現在、学校では学生イベントを継続的に行い、学年の垣根を超えた交流を行つてている。

卒業生コミュニケーションセミナーについて

十月四日に米田柔整専門学校にて
第四九回卒業生コミュニケーションセミナーが開催された。



と考えている方が50%以上いる
にも関わらず、それが叶えられた
のは17・2%と2割にも満たない現実がある。医療機関に於ける
治療の下で死を迎えることが最も
スタンダードな旅立ちの儀式であり、その結果70%以上の人人が医療機関で最期を迎えている。厚生労働省は、このよつたな調査から「病院完結型医療」から「地域完結型医療」への転換を目指し、在宅医療を強化する方向性が盛り込まれていることである。

そんな中、在宅医療におけるリハビリテーション（訪問リハ）の受給率は約2割に留まっており、ケアマネージャーの半数が訪問リハの充実感は不十分と感じていることである。森川先生は、こ

川由基先生より「最期は家で穏やかに、終末期医療における医療連携と柔道整復師の役割」をテーマにご講演いただきました。

日本では最期を自宅で迎えたいと考えている方が50%以上いるにも関わらず、それが叶えられたのは17・2%と2割にも満たない現実がある。医療機関に於ける治療の下で死を迎えることが最もスタンダードな旅立ちの儀式であり、その結果70%以上の人人が医療機関で最期を迎えている。厚生労働省は、このよつたな調査から「病院完結型医療」から「地域完結型医療」への転換を目指し、在宅医療を強化する方向性が盛り込まれていることである。

今回は、もりかわ在宅ケアクリニック院長であり帝京平成大学、秋田大学、植草学園大学で教育者としても活躍している森川由基先生より「最期は家で穏やかに、終末期医療における医療連携と柔道整復師の役割」をテーマにご講演いただきました。



午前中はあいにくの雨であつたが、式典が始まる頃には雨も上がり、たくさんの保護者の方が参列した。

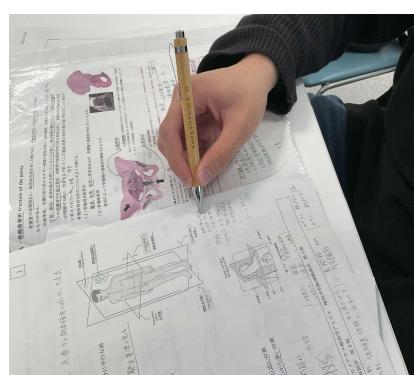
入学式開催

四月一日、米田柔整専門学校は入学式を挙行し、新たに柔道整復師を目指す七九名の仲間を迎えた。

当会からは平岩会長と森川副会長が来賓として出席し、登壇して新入生への歓迎の言葉を送った。また同窓会より記念品としてボールペンを贈呈した。

現在、米田柔整専門学校ではオープンキャンパスを定期的に開催しています。教職員が行うだけでなく、アシスタントとして現役学生さんにもお手伝いいただいている。社会人経験者から一年生まで、また一般入試だけでなくその他の選抜方法をくぐり抜けた先輩が、入学希望者と接する中で、より実態などを把握しやすいのではないかと思われるが、同窓会としても

オープンキャンパスについて



現在、米田柔整専門学校ではオープンキャンパスを定期的に開催しています。教職員が行うだけでなく、アシスタントとして現役学生さんにもお手伝いいただいている。社会人経験者から一年生まで、また一般入試だけでなくその他の選抜方法をくぐり抜けた先輩が、入学希望者と接する中で、より実態などを把握しやすいのではないかと思われるが、同窓会としても



定期総会について

2024年度事業報告・決算報告、会計監査報告、2025年度事業計画案・予算案、各期幹事変更、役員等の変更についての審議を行い、賛成多数で原案通り可決された。

支援として、手伝ってくれた学生さんに対して商品券など贈呈している。



同窓会HPの
QRコードです